

# あなたたのそばに、

## 民生委員・児童委員

### 民生委員・児童委員は地域の相談役です

#### 地域の身近な「相談役」

民生委員・児童委員は、地域住民の一員として、市民のみならず、同じ地域で生活をしながら、住民の立場・視点に立つて悩みごとや困りごとなどの相談に応じ、問題解決のお手伝いをしています。

委員の活動の中心は、「地域の見守り」です。「困っている人がいないか」ということを念頭におき、各委員は担当地域を回ります。

住民を支えるために日ごろから地道な活動を続ける民生委員・児童委員は、地域住民にとって「一番身近な相談役」といっても過言ではないでしょう。

#### 民生委員・児童委員とは

「民生委員」は民生委員法に定められた委員で、児童福祉法により「児童委員」も兼ねることになっています。

また、児童福祉に関する事項を専門的に取り扱う委員として、「主任児童委員」が民生委員・児童委員の中から選出されます。

#### ■民生委員・児童委員

民生委員は、「社会福祉の精神を持って、常に住民の立場に立つて相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めるものとする」と規定され、厚生労働大臣により委嘱されています。

#### ■主任児童委員

児童福祉に関する事項を専門的に担当する委員です。子どもたちが、安全に安心して育つていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童相談所や子育て支援センター等の児童関係機関と連携して相談や支援活動を行っています。

#### ■主任児童委員

児童福祉に関する事項を専門的に担当する委員です。子どもたちが、安全に安心して育つていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童相談所や子育て支援センター等の児童関係機関と連携して相談や支援活動を行っています。

#### 委員の活動内容

民生委員・児童委員は特別職の地方公務員ですが、法律上給与の支給はなく（活動に必要な通信費・旅費等は支給）、任期は3年です。

市内には130人の委員が委嘱を受けており、定められた地区をそれぞれが担当し、活動しています。

地域の状況を適切に把握することに努め、地域住民が抱える心配ごとや悩みごとなどの解決に助力するほか、高齢者、障害者やひとり親家庭のみならず生活弱者とならないように「地域の見守り」を行い、各種情報提供やその援助に努めています。

#### 問い合わせ

市民福祉部福祉課福祉係

TEL 23・1245





## 地域とのつながりが 問題解決への第一歩

長門市民生児童委員協議会

会長 吉村 彦士



### 少

子高齢化や過疎化が進行する中で、全国的に地域の見守り力が低下してきており、高齢者の孤独死や児童虐待などの報道を耳にするたびに心を痛めているところです。

困っている人の助けになればと日々活動していますが、民生委員だけで解決できることは少なく、私たちが地域と行政の橋渡しをするとともに、地域と深くつながりあうことが、問題解決へつながると感じています。

民生委員として日頃から心がけていることは、地域や人に信頼されることです。民生委員法第15条で、民生委員には守秘義務が課せられているため、

個人情報保持には常に細心の注意を払っています。そういった活動姿勢が住民のみなさんとの信頼を築く第一歩であり、信頼なくして民生委員活動は成り立たないといえるでしょう。

また、民生委員は、児童委員も兼ねており、地域での行事の機会を捉え、子どもたちとの関わりを増やしていくという地道な活動が、将来の長門市の地域力向上につながるのではないかと考えています。

### 民

生委員の仕事は、まず「聞くこと」から始まります。様々な問題が発生する前に対処ができるよう、

普段から地域の人とのつながりを持つことが大切です。

また、市内7地区（通・仙崎・深川・俵山・三隅・日置・油谷）に地区民生児童委員協議会を組織し、それぞれの地域での実情や課題、生活ニーズを的確に把握できるよう、定例会を毎月開催して情報交換を行うなど、社会環境の変化にも対応するよう努めています。

委員であることに誇りと責任を持ち、委員であったからこそ人に出会え、優しさに触れることができる喜びを感じ、民生委員としての使命を果たしていきたいと思えます。



一人暮らしの高齢者世帯を定期的に訪問。健康状態や日常生活のあらゆる相談に応じる。



# 現任民生委員が語る

## 長門市の「今」と「これから」



### 心が通って初めて

### 話を聞けるようになる

**松野** 民生委員の仕事は、高齢者の見守りが割合として多いですよ。

**河村** 特に一人暮らしの高齢者世帯。

**木下** 話を聞いてあげて一時的にでも気持ちが安らぐとかですね、そう思っていたただけでもいいんじゃないかと。

**河村** 聞いてあげること、相手のお年寄りなんかでも心が安らぐということ、私のことをしっかり受け止めてもらえたということがいいと思えますしね。

**木下** 一時的に自分の心の中を話しただけでも、心が和みますよね。

**松野** でもそうなるまでにはある程度信頼関係を構築しないとイケないですよ。それまでが大変だし、時間もかかる。

**木下** 最初は心を通わせることが大変。心が通って初めて相手の思っていることが聞けるようになるというか。

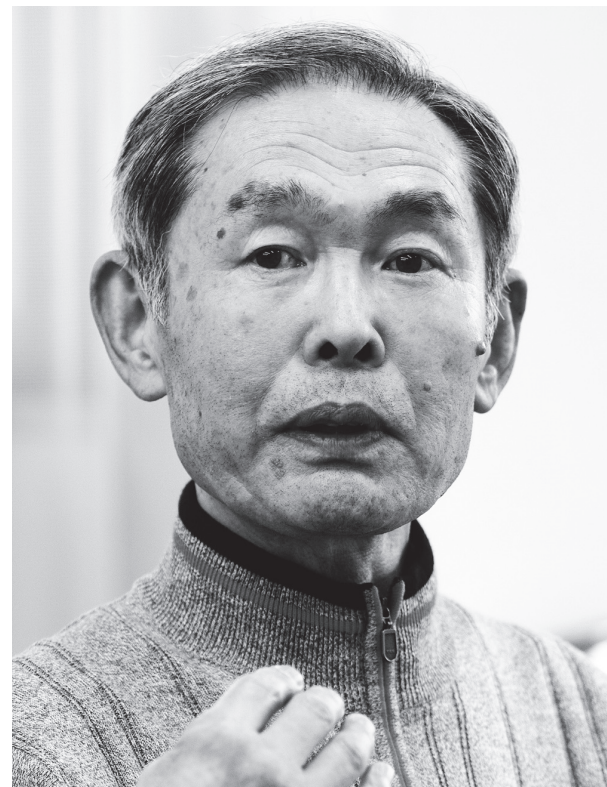
**松野** だから民生委員になった最初の特に1年目なんて何をしたらいいのかわからなかったですね。

**河村** いい関係になっていくのには、少し時間をかけなくてはいいと思えます。

**木下** 相手に9割以上話をしていただいて、「ああそうですか、そういう風に考えていらっしやるんですね」とかですね。どっちがいいとか結論めいたことは言わないようにしています。

**河村** 相手の気持ちに寄り添って話を聞いてあげるといことは、やはり大切だなと思えますね。

**木下** こちらの気持ちを押し付けたりすると相手心が閉ざってしまうこ



**木下 紀一郎**

仙崎地区民生児童委員協議会会長  
鳥越地区担当

ともあるでしょうから。相手にしっかり話をさせてあげることが一番ですね。

**河村** 私たちは物事を解決するという権限はないわけですよ。権限がないからこそしっかり聞いてあげて、そして気持ちをわかってあげる。そして解決の方向にうまく行くように、というような働きをするということですよ。

**松野** 地域のなかで、何かあったらあの人のところに行けば力になってもらえるという存在になれば、十分なことをしているという証ですよ。

**河村** 高齢者や一人暮らしの高齢者が増えていくでしょ。そうすると民生委員だけではなくて、近所の人たちもお互いに見守り合うとか助け合う

とかいうような形にどんどん進んでいくようにやっていく必要があるでしょうね。

**木下** 昔で言う「向こう三軒両隣」的なものですよ。

**河村** そのようなつながりがあれば何か災害があったときでもお互いに声を掛け合って避難するとか、そういうところにつながっていくのではなかなかと思えますね。

### 認知症は恥ずかしがらず

### 早めのSOSを

**木下** 認知症というのは、ご家族がそのことを恥ずかしいと言われるんですよ。外部に隠そう、隠そうとさ



## 河村 康夫

油谷地区民生児童委員協議会会長  
芝崎・大坊・田上・二ノ瀬・坂根地区担当

れる。認知症というのは決して恥ずかしいことではない。だからそういうときには家族のほうからSOSを出してほしいですね。

**河村** 私のところでもですね、女性の方でものがなくなったりとか、お金がなくなったりとか。警察にも言われて、警察がこられたこともあるんですよ。誰々がと警察に言われて近所の方も気分を悪くされたというようなこともあったんですけどね。市外に住んでおられる息子さんがそういったことに気づかれて、近所の方に「ちょっと認知症の傾向があるから迷惑をかけるよ、頼む」と言われたそう。それがあってから、周囲のその人に対する対応が変わってきたという例がありました。だから、認

知症であるということをごにすることを公にするのが大事だと思いますね。

**松野** 今はこれも病気だという意識は高くなってきていますよね。

**木下** 民生委員の研修も認知症に関することが多いですよ。認知症に対する関心というか、理解度、そういった認識は数年前とは違っていると思いますね。

**松野** 今は介護保険のデイサービスなど、家族の方へのいろいろなサービスもふん浸透してきたというふうには感じています。

**木下** 家族が早くキャッチすることで。認知症というのは、こういう病気なんだからということ。気になったというときは早くに病院などにかかることが大切です。進行を遅



## 松野 圭子

三隅地区民生児童委員協議会会長  
野波瀬地区担当

くすることはできませんから。単なる物忘れなのか、認知症なのかというのは専門家でないといけないですからね。

### 「地道な活動」を大切に

#### 信頼関係を築く

**木下** 私は民生委員というのは、とにかく「地道な活動」。一步一步。昔も今もこれからも、私はこれが原点だと思ふ。私は、実直に原点を歩こうと思ひますよ。

**松野** 別に相談だろうと、何でも話ができればいいなと思ひます。とにかく信頼関係を構築しないことには何の仕事もできないですから。民生委

員は上から目線ではなくて、「あなたにそばに民生委員」ですよ。何でも話せる信頼関係を作ることがすべての解決につながると思ひます。そうする努力を私たちはしなくてはならない。

**河村** 私は民生委員としての仕事をこれからもがんばってやっていきたいなと思ひますし、地域のつながりというか、それを強めていけるように民生委員としてできることをやっていきたいなと思ひます。

**松野** 民生委員だから、ではないですよ。住民の一人としてみなさんとつながりを持つということを大切にしたいですね。逆に言えばお世話ができるということは、恵まれた環境にあるということだと思ひます。